

Bihoku Hills  
STAFF

広報

# しおばら

8

2011/AUGUST  
No.77

Shobara  
SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

友だちに  
なれるかな

夏休みで多くの家族連れが訪れる国営備北丘陵公園で、カブトムシハウスが公開中。大人も子どもも夢中になってカブトムシを観察していました。公開は8月中旬ごろまで。(関連記事 29 ページ)

- 2 特集 語り継ぐ被爆体験
- 6 「食育」で描く庄原市の将来像
- 8 (株)ジュオン等の事業に係る対応
- 10 庄原保育所を移転・建て替えへ
- 11 庄原豪雨災害の復旧状況
- 12 新農業委員に43人
- 13 シリーズ庄原さとやま博
- 14 不妊治療費補助金制度を開始／女性相談員を設置

- 15 公文書の公開と個人情報の運用状況
- 16 市政懇談会／安心・安全な毎日のために
- 17 健康広場「介護予防で元気に過ごそう！」
- 18 夏まつりに出かけよう！
- 20 市政トピックス
- 22 カメラレポート
- 26 お知らせ



# 語り継ぐ 被爆体験

被爆から66回目の夏を迎えました。原爆の実相を直接知る人の高齢化が急速に進んでいます。  
昭和20年8月6日8時15分、広島市上空から投下された原子爆弾は、一瞬にして町を消し去りました。多くの人がもがき苦しみに亡くなりました。放出された放射能による原爆症は、その後も命を奪い、今なお多くの人が苦しんでいます。  
この惨劇を二度と繰り返さないために、被爆体験を語り継ぐ人々がいます。  
今月は、この人たちにスポットを当てました。



動員学徒慰霊碑塔  
当時は市内からも多くの学徒が広島へ行っており、その多くが原爆の犠牲になった。

※建物疎開作業 政府が昭和18年3月に「都市疎開要項」を決定し、広島市では133カ所が指定された。官公署や軍事施設、軍需工場などを空襲の被害から守るため、民家の取り壊しと市民の強制立退きを進めた。取り壊し作業には多くの学生・生徒や市民・周辺町村の住民などが動員され、すべてが屋外作業であったため原爆で多くの人が犠牲となった。

## 被爆を語る



おつかみつおさん  
甘美みか

### まるで生き地獄

**当** 時19歳だった私は、基町の中国第139部隊に所属し、兵舎屋上の対空監視をしていました。その日空襲警報が発令され、同僚4人と敵機の奇襲に備えていました。朝8時ごろに警報が解除されたので、食事を取るため2人の同僚を残し兵舎2階に下りました。その直後でした。紫色の閃光がはしり、それと同時に爆風で兵舎が崩壊。私は意識を失いました。数十分後に意識が戻りましたが、兵舎の瓦礫が覆いかぶさっていたため暗闇で何も見えませんでした。周りからは助けを求める声がしきりに聞こえました。かすかな明かりを見つけたので、その方向に向かって何とか外に這い出しました。辺りを見渡すと一面が焼け野原となり町がなくなっていました。間も

なく、菅庭(兵営の中の広場)に負傷した人が次々と集まってきました。見る人見る人、服はボロボロで顔はどす黒く焼けただけ、皮膚は垂れ下がりで化け物のようでした。まさに生き地獄でした。防火用水槽に水を飲みに来る人であふれました。夜中も水を求める人のうめき声で眠れませんでした。翌朝には防火用水槽の周りで多くの人が死んでいました。死体の処理をすることにになりましたが、死体にはウジが湧き悪臭がたまりませんでした。腐乱が進んだ死体を両手で持ち上げる人と肉が手指にうずまるほどでした。人を山にして残った木でまとめて焼きました。  
原爆投下から一週間ほどすると髪が抜け始めました。自宅へ帰ってからは、小豆のような発疹が体中に現れ、横たわると視界がおかしく天井がぐるぐる回る状態が続き、高熱にうなされまわりました。被爆から60年以上経ちますが、毎年7月になると毎晩のように当時のことを思い出してしまいます。8月6日の記憶が癒えることはありません。現在も精神科に通って治療を行っていますが、もう治らないとあきらめています。



しもだかずみさん  
下田一三

### 担架を担いで 4キロを往復

**三** 菱工作機械という会社に勤務していた18歳のときでした。爆心地から4キロほど離れた西原に下宿していました。アメリカの焼夷弾から逃れるために、火道※を作りにいけという命令を受けていました。原爆投下前日、食料がわずかしかなかったため、無断で米を取りに実家に帰りました。6日の朝に帰ると散々怒られました。その後、屋外に出たとき、原爆が降されました。間借りしていたところが爆風ですべて吹き飛びました。多くの友人が爆心地近くで建物疎開作業を行っていたため、担架を持って救援に向かいました。4人一組で担架を担ぎ4キロの道のりを二日に何度も往復しました。道中で助けを求める人を乗せ、近くの学校の講堂へ担ぎ込みました。担架を担いで帰る途中にも水を欲し

がるため、タオルに田んぼの水を染み込ませ絞って飲ませました。講堂では、負傷者が並んで緊急処置を受けていました。手当てのいかにもなく、次々と亡くなりました。みんなやけどで皮膚がぶら下がっていました。中には全身真っ黒になり、内臓が飛び出した状態で歩いて帰ってきた子どももいました。亡くなった方を外の広場に積み上げて、近くの会社から持ってきた油をかけて焼きました。魚を焼くような感じで尋常ではありませんでした。炎天下その作業が3日も続くと、死傷された人が匂い始め、虫が湧き出しものすごい状態になりました。担ぐのもやつとで、たまたま前後交代しながら運びました。  
放射能を吸っていたためか、その年の暮れごろから歯茎から出血しはじめ、脊髄が痛み出しました。広島赤十字病院に通い、あらゆる治療をしましたが一向に改善せず、自分はもう長くないと半分あきらめていました。ところが、地域の寄りでお酒をすすめられ飲んだのをきっかけに痛みが和らぎました。不思議ではありましたが、とてもうれしく今でもお酒は切らしません。ただそれだけではなく、西城の自然環境の良さが症状を和らげてくれたのかもしれません。今は、原爆症とうまく付き合っています。



# 平和への思いを次世代に

結成から55年目を迎えた西城町原爆被爆者友の会。会員である被爆体験者の高齢化と減少が進む中で、恒久平和の願いを  
持ち続け活動をしています。この会の現状と思いを聞きました。



西城町原爆被爆者友の会

広島県原爆被害者団体協議会(広島県被団協)が結成された昭和31年に、自らも被爆者だった当時の首藤幸人町長の指導のもと結成。今年で結成55年。現在の会員数は139人。

左から 前原美喜恵さん、竹下 敦さん、中井ヨシエさん  
美甘 寅夫さん、吉方 俊晴さん、下田 一三さん

## 山積する多くの課題

### ① 高齢化と会員減少

被爆から66年が経過し、当時を知る者のほとんどが80歳を超えています。結成当初約450人いた会員は139人にまで減少。会長を務める竹下敦さんは「役員も息切れ寸前。今では年に3回集まるだけでも大変」とため息をつきます。さらに資金的な問題が追い打ちをかけています。会費を集めて活動していますが、これを払えない人が出始めているといいます。「中には、施設入所している家族から支払いを拒否されることもある。このままでは会費を上げることも考えないといけない。だが会費を上げるならやめるという人もいるのが現実」と悩みを打ち明けます。



会議の様子

### ② 潜在する差別と偏見

「西城町原爆被爆者友の会のような被爆者団体の組織化率は低い」と竹下会長。その一番の理由を「差別と偏見」にあると指摘します。「原爆を受けた」と公表することは、以後の生活に二重の苦しみを与えることになりません。その典型が「結婚ができない」と。被爆者には子どもができないという風評も広がりました。吉方俊晴さんは「当時結婚ができない者が続出した。差別意識から逃れるため自分も被爆したとは言い出せなかった」と胸のうちの明かしします。

また「原爆手帳を持つと医療費がかからない」ことも本人たちを苦しめました。「医療費がかからないからいつも病院へ通つると言われる。被爆経験のない人にはわからないことかもしれないが、病院にかり続けなければならぬ苦しみをわかつてほしい」とメンバーは訴えます。



竹下会長は「解散は簡単。しかし、西城町の歴史として残したい。ただ私たちだけではもはや限界に来ている。地域も市民も行政も一緒に考えてもらいたい」と話す。

## 次世代に語り継ぐために

### ① 平和祈念式典への継続参加

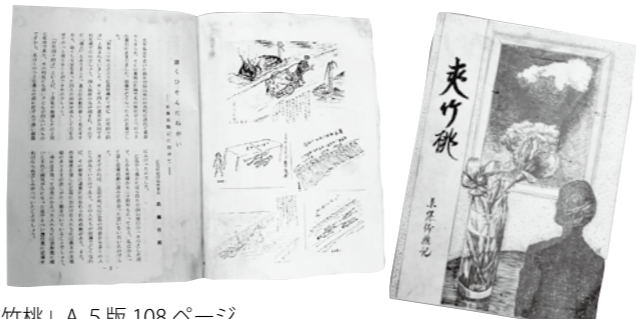
会の主な活動は「平和祈念式典への参加」。しかし、炎天下の中、長時間参加することは身体への負担が大きすぎるため、実際に参加できる人は十数人ほどしかないといえます。それでもメンバーは「平和は尊い。戦火に沈んだ人々を参拝してやりたい」と式典に参加したい気持ちに変わりありません。参加できるメンバーが参加できないメンバーの思いも一緒に届けられます。

### ② 被爆を知る者としての責任

「被爆体験者が死んでしまったら、語り継ぐ者がいなくなる」。会のメンバーほとんどが、被爆2世にその役割を担ってほしいと思っています。しかし現実にはうまくいっていません。一つは、親を失い町外に出ていく人が多く、残っている人であっても親が被爆していることを話さないでいること。もう一つは、実際に原爆を経験しているわけではないので本当の意味で伝えていくことが難しいことにあるといえます。メンバーは「だからこそ被爆体験者がもっと話をしていかなければいけない。核の恐ろしさ原爆の恐ろしさを後世に伝える責任がある」と力を込めて語ります。

### ③ 被爆体験を記した本の復刻

友の会では「夾竹桃」という本を昭和51年に発行しています。会のメンバーが一人ずつ名前を入れ、その当時の体験を綴ったものです。この本もかなり古くなり部数も残りわずかとなつているため、復刻する計画が持ち上がっています。「子どもたちのために私たちが頑張る間に」とメンバーは意気込んでいますが、資金がないためどういう方法で復刻していくか模索中なのだそう。「一人でも多くの人に被爆の実態を知ってもらいたい。行政などの知恵を借りながら必ず復刻させる」と大きく誓い、強い気持ちで活動を継続していきます。



「夾竹桃」A 5版 108ページ。  
50人が記した、被爆の惨状をうたった体験記や短歌などが掲載されている。  
夾竹桃は、原爆投下後75年間草木も生えないといわれた焦土に、いち早く花を咲かせたことで、復興のシンボルとして広島市の市の花に指定されています。



## 平成23年度 庄原市戦没者追悼式 並びに平和祈念式典

本市の戦没者に哀悼の意を表すとともに、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和を祈念するため、庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典を開催します。

多くの皆さんの参加をお願いします。

とき 8月24日(水)10時～  
ところ 庄原市民会館

※当日は要約筆記による案内に加え、イントラネットでの中継も行いますので、各学校、公民館(自治振興センター)などでもご覧になれます。  
※各支所からの送迎バスをご用意しています。利用を希望される場合は、8月23日(火)までに各支所市民生活室に申し込んでください。(定員に限りがありますので、ご希望に添えない場合はご了承ください。)

●問い合わせ  
社会福祉課障害者福祉係  
(☎0824-73-1210)  
または各支所市民生活室



## ●基本目標● 掲げる3つの基本目標

**食** 育の理解促進と食習慣の習得



子ども食育絵画展、出前講座  
離乳食教室、料理教室 など

**人** 材・団体の育成と関係店舗の普及



健康生活応援店の普及  
地産地消推進店の普及  
食育推進員養成講座の開催 など

**食** 育体験と地産地消の実践



農業体験、給食での地産物利用  
地元食材を使った料理教室  
伝統料理講習会 など

## ●庄原市地産地消推進店に登録しませんか?●

市は、この計画を基に「地産地消で食育」を推進しています。

地元で採れた食材は新鮮でおいしく、生産者の顔がわかり安心感が持てるのが特徴。市内に地元産の食材を使っているお店や飲食店が増えていけば、「食育のまち」として、アピールできると考えています。

この取り組みに協力いただけるお店を広く募集します。

### 登録するにはどうすればいいの?

#### STEP1 登録基準を満たす

市内で生産された食材、その食材を使用した料理や加工品を販売、活用する店舗を「庄原市地産地消推進店」として登録します。

登録には、次の登録基準を満たす必要があります。

- 市内に所在し、次のいずれにも適合する店舗
- ①地元食材などを、常時販売または活用していること。
- ②市内で生産された食材の種別、品目、量などを適切に表示していること。
- ③週3日以上営業していること。ただし、生産者が営業する朝市および直売所は、週1日以上営業していること。
- ④法令や実施要綱の規定を遵守すること。
- ⑤うるち米またはもち米を使った料理を提供する飲食店や宿泊施設などは、市内で生産された米のみを使用していること。

#### STEP2 申し込む

8月10日(水)から申請を受け付けます。保健医療課または各支所市民生活室に備え付けの登録申請書に必要事項を記入し、提出してください。

#### STEP3 登録決定

申請書に基づき審査します。登録基準を満たしていれば「庄原市地産地消推進店」として登録します。その証として「登録証」と「PRのぼり」を交付します。

#### STEP4 店をどんどんPR

地産地消推進店として積極的にPRしてください。  
市ホームページや広報紙などで広くお店を紹介します。



保健医療課  
やまだ あきひこ  
山田 明彦 課長

「食育推進のまち  
庄原」をかたちに

近年、ライフスタイルや価値観の多様化などにより、食をめぐる環境は大きく変化しています。しかし、「食」は生命の基本であり、私たちが生きていくうえで欠かすことはできません。市は、食の大切さを分かち合う「庄原市食育推進計画」を策定し、計画をかたちにする推進プログラムの一環として、地産地消推進店の普及と事業をスタートさせました。市内に地産地消推進店が増えていくことで、新鮮でおいしい地元食材があふれる「食育推進のまち」として、市が目指す将来像に少しずつ近づいていくのではと考えています。市内の店舗事業者の皆さんのご登録をぜひお願いします。

登録手続き・問い合わせ  
保健医療課健康推進係  
0824-731255  
または各支所市民生活室

# 「食育」で描く庄原市の将来像 ～庄原市食育推進計画～

おいしいものは**市内に地元**に身近にある!

市は、庄原市食育推進計画(平成21年度策定)に基づき「食育」を推進しています。平成25年度末までの計画で、目標達成のための取り組みを順次進めています。

## ●将来像●

### 目指す2つの将来像

#### 1 「こころ」も「からだ」も 元気な市民

食育を通じて心身の健康増進に努めるとともに、食に対する理解や感謝の心を養い、「元気な市民」、「元気なまち」を創ります。

#### 2 緑豊かな自然を活かした 地産地消のまち

地産地消の運動や健全な食生活を推進するとともに、伝統的な食文化を大切にします。また、農畜産業の元気を再生し、食材の供給地域として、食の安全や美しい田園・里山文化を未来に伝えます。

## ●施策の展開●

### 展開する4つの施策

#### 基本施策1 いつでも・どこでも食育推進

食生活の課題は世代や生活場所で異なります。各世代の特性に応じた食育を推進します。

#### 基本施策2 家庭や地域で食育推進

子どものころから正しい食習慣や生活習慣を身につけることは重要です。家庭での食育はもちろん、身近な学習の場である地域で多様な取り組みを展開します。

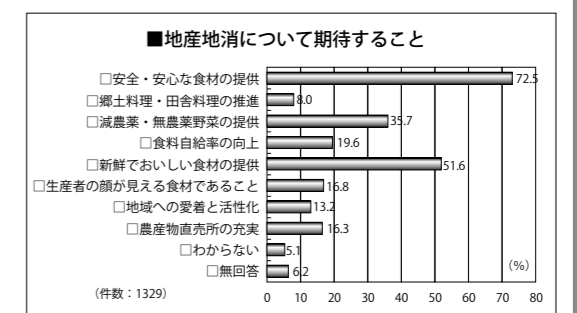
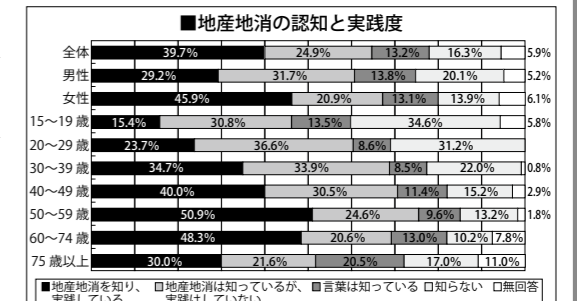
#### 基本施策3 地産地消で食育推進

地産地消が進めば、生産者と消費者が「お互いの顔が見える」関係を築けるとともに、環境にやさしい地域の実現につながります。地産地消を広く普及し、次代に継承できる仕組みづくりを進めます。

#### 基本施策4 ふるさとの食の文化で食育推進

伝統的な郷土料理など地域の食文化は大切な地域の個性。先人の知恵や工夫がたまってきた貴重な財産です。市民の皆さんの関心を高め、次代に継承できるように体験の場や機会を提供します。

【庄原市食育推進計画のためのアンケート調査より (H20年10月)】



※地産地消という言葉を知りながらも、地産地消を実践している人は全体の4割程度。



# (株)ジュオン等の事業に係る対応

林業振興課木質バイオマス係 ☎0824-73-1130

(株)ジュオンおよびグリーンケミカル(株)の事業に関する現状と対応に関して5月号でお伝えしていますが、その後の(株)ジュオンの破産およびグリーンケミカル(株)の事業譲渡に関する対応状況をお知らせします。

## 1 (株)ジュオンの破産に関する事項

(株)ジュオン等の破産に関しては、3月31日以降次のような状況になっています。

3月31日	(株)ジュオンから、平成19年度に整備したチップボイラー導入事業およびバイオエタノール実証実験事業の事業中止の届出を受ける。
4月20日	(株)ジュオン破産申立て
4月28日	(株)ジュオン破産手続開始決定
5月30日	債権届出期限 市は債権を保全するため、裁判所へ届出を行っている。
8月26日	財産状況報告集会等開催予定

## 2 (株)ジュオンの破産に係る市の対応

市は(株)ジュオンの破産に伴い、同社が行ったチップボイラー導入事業およびバイオエタノール実証実験事業に関して、次のとおり協議および必要な手続を行っています。

(1) 中国四国農政局との協議

4月1日	中国四国農政局への事業中止申出
4月15日	中国四国農政局から事業中止の承認
4月18日	市から(株)ジュオンへ事業中止の承認
5月20日	中国四国農政局との債権額に関する協議
5月24日	中国四国農政局から債権額の承認

## (2) 手続等

4月15日	①木質バイオマス関連事業の推進に関する協定書の解除 ②木質チップボイラーによる熱供給事業に関する覚書の解除 ③バイオエタノール実証実験施設に係る土地・建物使用貸借契約の解除 ④国内クレジット取り引きの損害賠償請求(749,245円)
5月26日	①(株)ジュオンのチップボイラー、エタノール実証実験施設に係る補助金返還額について、広地方裁判所へ債権届出および(株)ジュオンへ補助金返還命令 債権額……17,760,110円 内訳 チップボイラー……12,677,638円 バイオエタノール……5,082,472円 ②国内クレジット取り引きの損害賠償請求について、広島地方裁判所へ債権届出 債権額……49,245円



### 3 グリーンケミカル(株)の木質バイオマス活用プラント整備事業

市は、プラント施設の有効活用による事業目的の達成のため、グリーンケミカル(株)の事業譲渡について関係者との調整を行っています。

## 4 グリーンケミカル(株)の木質バイオマス活用プラント整備事業に係る事業計画変更に伴う補助金返還

グリーンケミカル(株)が庄原工業団地で進めていたプラント整備事業は、平成22年11月に事業計画の変更を行った結果、糖化設備と炭化設備が不要となりました。

これに伴い、平成20年度で整備した糖化パイロット装置および分析機器の一部が補助事業の対象外となったため、グリーンケミカル(株)は整備した部分への補助金を市に対して返還しなければなりません。

平成23年5月31日現在で、未だグリーンケミカル(株)から返還納付されていない額が11,352,879円あり、市は債権としてこれを回収する必要があります。

## 5 会計検査

(株)ジュオン、グリーンケミカル(株)が実施した地域バイオマス活用交付金事業について、事業計画の策定、事業実施状況、現在の状況、今後の方針などの検査が5月24日、25日、27日、会計検査院により実施されました。

現在も、引き続き調査が行われています。

## 6 住民監査請求

6月30日、市民28人から市監査委員に対して、木質バイオマス関連事業に関する住民監査請求がありました。

これを受けて、今後は市監査委員において監査が実施されます。

(1) 返還額	21,048,879円	
内訳	糖化パイロット装置 分析機器の一部	20,499,590円 549,289円
(2) グリーンケミカル(株)の返還状況		
平成23年1月18日	9,618,000円	
平成23年4月7日	78,000円	
計	9,696,000円	
(3) 市から国への返還額・時期		
市は国との協議により、21,048,879円を平成23年中の予算措置が整い次第、速やかに返還することとしています。		

## 忘れずに手続きを

# 児童扶養手当現況届 特別児童扶養手当所得状況届

現在、児童扶養手当や特別児童扶養手当を受けている方(所得制限で手当を受けていない方を含む)は必要書類、印鑑などを持って、次の期間中に女性児童課または各支所市民生活室で手続きを行ってください。

受付期間  
児童扶養手当  
8月1日(月)～31(水)  
特別児童扶養手当  
8月11日(木)～9月12日(月)  
※該当する方へは、別途案内を送付します。

注意!  
期間内に手続きをしないと8月以降の手当が差し止められます。また、この手続きを2年間しないと受給権がなくなります。  
※新たに該当すると思われる方は問い合わせください。

申請窓口・問い合わせ  
女性児童課児童福祉係  
☎0824-73-1192  
または各支所市民生活室

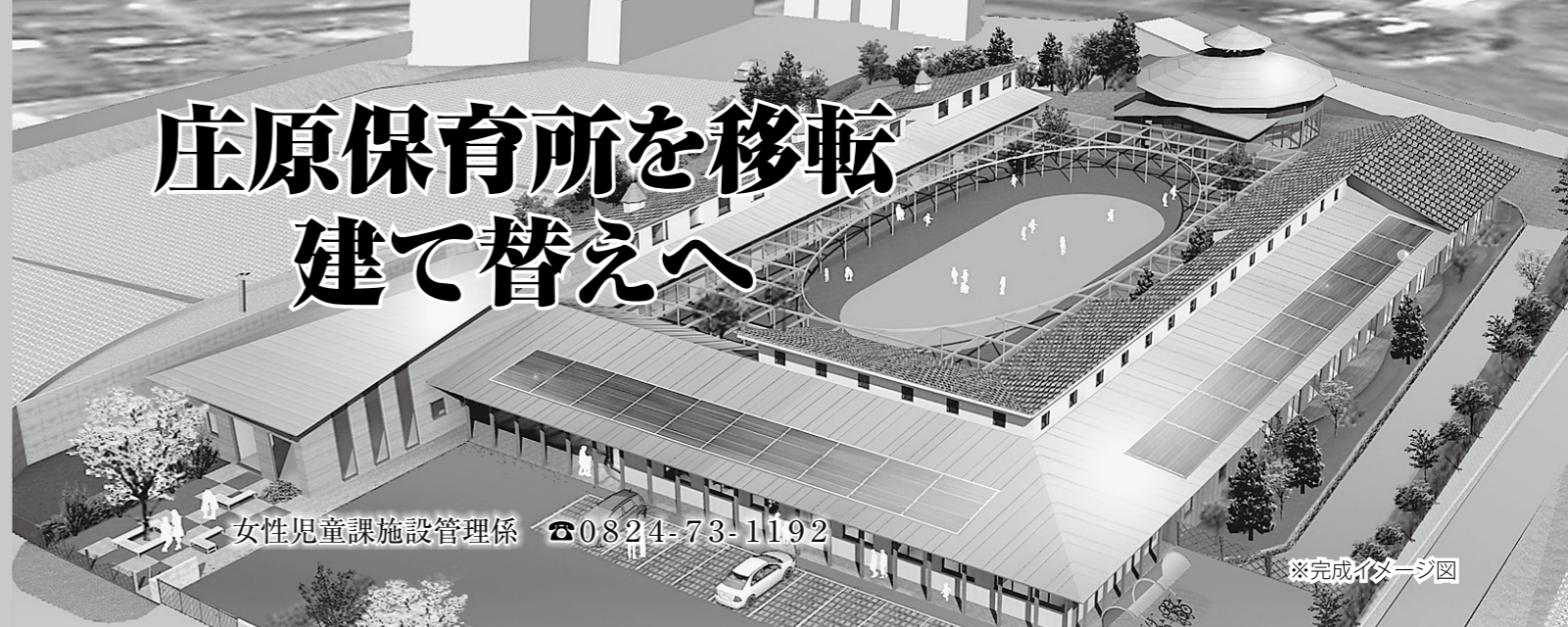
① 児童扶養手当  
受給資格者  
父母の離婚などで、父または母と生計を同じくしていない子どもを養育している家庭(ひとり親家庭)、あるいは父または母に代わってその子どもを養育している方。(ただし、遺族年金などの公的年金受給者は除く)

② 特別児童扶養手当  
精神または身体に障害のある20歳未満の児童を養育している方。





# 庄原保育所を移転 建て替えへ



※完成イメージ図

## 現状

現在の庄原保育所は昭和53年度に建築されたもので、30年以上が経過。施設の老朽化が進んでいます。

平成21年度に実施した建物耐震診断では、保育所施設としての基準は満たしているものの、学校施設(文部科学省)の耐震基準は下回っており、安全確保の面からも課題があるのが現状です。

近年、共働き世帯の増加や核家族化により低年齢児の入所希望者が増加。現在の保育室では受け入れが困難となり、年度途中で待機児童が出てくる状況です。園庭も園児の数に対応しきれっていません。保育所敷地内には駐車場もなく、朝夕の通園時間帯は保育所前の道路の交通にも支障をきたしています。

このような状況下にあることから、平成24年度の完成を目標に、現在の場所から移転し、建て替えを行います。

## 建築の基本方針

保育所は、子どもが一日の大半を過ごす場所です。一人一人の子どもが伸び伸びと活動でき、心豊かに成長できるような場所であってほしい。そのため、自然と人が触れ合い、健康

な生活ができる環境を用意し、豊かな人間性を持った子どもを育成することが求められます。

こうした保育を展開していくため、健康や安全を確保するための施設機能の改善、保育内容の充実を図ります。建物には木造平屋建、環境に配慮した自然エネルギーの活用、防犯性を考慮したセキュリティシステムの設置などに重点を置き建築を進めていきます。

## 取り組み状況

事業の実施にあたり設計者による創造性、技術力、豊富な経験を期待して、指名型設計競技(コンペ方式)※による設計者公開ヒアリングを7月15日に開催しました。市民も見守るなか、7社が企画提案を説明。その後、選定委員会の厳正な審査を経て、大旗連合建築設計株式会社を設計者に決定しました。

## 建設予定地位置図



## 主な工事スケジュール

平成23年度 基本設計・実施設計・造成設計・造成工事(敷地内)・地質調査  
平成24年度 建築工事(園舎建築・園庭他外構工事)

※「コンペ方式」とは、発注者が明確な設計条件を示し、設計者が設計案を作成。それを審査し最も優れた提案を行った者と契約する方式です。

# 昨年7月16日の 集中豪雨による災害の復旧状況

危機管理課危機管理係 ☎0824-73-11206

昨年7月16日に庄原市を襲った庄原ゲリラ豪雨災害による公共土木施設および農地・農業用施設の被害状況と、その後の復旧状況をお知らせします。

昨年12月中旬に国の災害査定を終え、国庫補助による災害復旧事業が確定し、今年から順次工事発注を行っています。

公共土木施設の被災は、河川39カ所、道路19カ所、被害総額(災害査定額)は9億7,747万5千円。6月末日現在、河川・道路併せて57カ所の災害復旧工事を発注し、23カ所の復旧工事が完了しています。

農地・農業用施設の被災は、農地72カ所(約57㌖)、農業用施設101カ所、林道1カ所、被害総額(災害査定額)は8億8,894万8千円となっています。6月末日現在、農地55カ所(約39㌖)、施設64カ所、林道1カ所を発注し、農地16カ所(4.5㌖)、施設27カ所、合計43カ所の復旧工事が完了しています。

本年度中にすべての発注を終え、平成24年度末にはすべての被災個所の復

旧を終える予定です。

一日も早い復旧に向けて、今後もしっかり組んでいきます。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

## ◆平成23年6月末日現在の状況◆

区分	公共土木施設			農地・農業用施設			
	河川	道路	計	農地	農業用施設	林道	計
被害箇所数	39	19	58	72	101	1	174
発注済件数	39	18	57	55	64	1	120
復旧完了済件数	8	15	23	16	27	-	43

## 川西町農地災害復旧状況

### 被災後



### 復旧後



## 川西町市道高川北線復旧状況

### 被災後仮復旧状況



### 復旧工事後





# 新農業委員に43人

農業委員会農地係

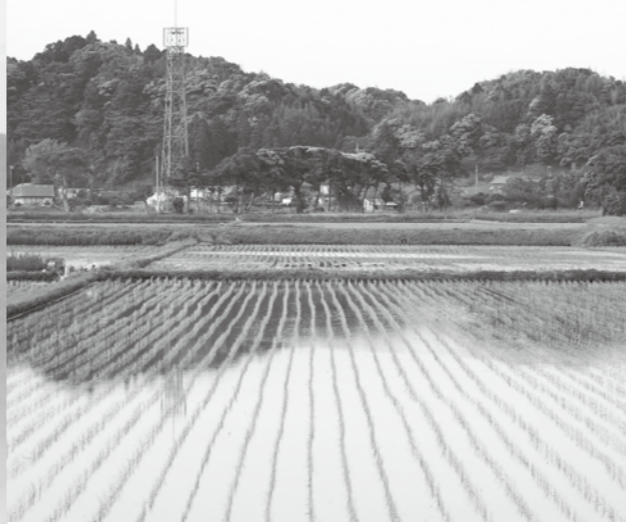
☎0824-73-1133

任期満了に伴う農業委員の改選が行われ、公選委員35人が無投票当選、8人が団体などからの推薦により選任されました。

任期は、7月20日から平成26年7月19日までの3年間で。

7月20日に、改選後初の農業委員会総会を開催し、会長に中谷憲登さん(高茂町)、会長代理には小林孝さん(東城町)が選出されました。

農業委員は農業者の代表として、農地にかかる調整・相談や、農家の声を行政に届け、政策に反映させるための活動をしています。お気軽にご相談ください。



## みつけ体験・「さい」発見! 庄原さとやま博

開催中

商工観光課 ☎0824-73-1177

### 自然が生み出すeco涼を求めて庄原へ 山フェスしょうばら 2011 inひろしま県民の森

ひろしま県民の森で8月28日(日)に開催される「山フェスしょうばら 2011 inひろしま県民の森」のイベント内容が決定しました!

このイベントで初心者でも気軽に楽しめる、庄原の涼しい夏山の楽しみ方を提案します。

当日は、しょうばら山ガールの岡佳奈さんと井上恵津子さんも登場し、イベントを一緒に盛り上げます。

今年の夏は、「eco涼」をキーワードにしたイベントを展開していますので、これを機会に改めて庄原市の自然の魅力を見つめ直しましょう。

9月10日(土)には、関東を中心に山でのヨガイベントを開催している山ヨガ事務局の協力で、西日本初の本格的な山ヨガイベント「山ヨガ体験 in 吾妻山」を開催します。関東を中心に盛り上がる「山ヨガ」をいち早く庄原市から発信します。

#### ☆夏山を楽しむ 山フェス4つのプログラム☆

**No.1 食とワークショップ**  
キャンプ料理教室やクラフト教室などを開催します。

**No.2 登山体験**  
広島登山研究所の今村みずほさんがプロデュースするコースで比婆山登山を楽しみます。

展望地までのファミリー向けハイキングコース(約1時間30分)と登山初心者向け毛無山トレッキングコース(約3時間)の2コースを用意。旅行会社とのタイアップ企画として登山中級者向けの竜王山トレッキングコース(約5時間)を含むツアーも販売中。

**No.3 山ヨガ体験**  
山ヨガとは、自然の中で行う「ヨガ」のことで、ヨガの語源でもある「ユジュ(つなぐ)」をテーマに、人と自然、心と身体をつなぎます。インストラクターの指導で、ヨガを楽しみます。

**No.4 アウトドアファッションショー**  
広島の若者の間で話題の「広島美少女図鑑」のメンバー10人をモデルに起用し、アウトドアファッションの協力のもと、秋のアウトドアファッションショーを開催します。おしゃれな山ガール必見です。

③中級者 ツアー参加者のみ参加できるガッツリ縦走コース。熊野大杉、那智の滝、360度展望、ブナの自然林と見どころ盛りだくさん。

①ファミリー 1時間30分の登山気分を味わえる、ファミリーコース。標高差は200mと実は本格的かも!? 展望地の眺めが素晴らしい!

②初心者 標高差350m、3時間の毛無山トレッキング。腹八分目の山ガールコース。ブナ林と360度の展望が楽しめる。

### おすめ 体験メニュー 紹介リレー

八幡自治振興区 中島さんからの紹介  
「愛菜香 岡村さんの畑で夏野菜収穫体験」

岡村愛香さんご夫妻の野菜畑で、トマトやナス、トウモロコシの収穫を体験します。朝採りの新鮮な野菜を畑で生のまま味わうことができます。夏休みで田舎に帰ってきたお子さんやお孫さんの参加にぴったりです。

とき 8月21日(日)9時~10時  
定員 1人~20人  
料金 1,100円(小学生600円)※小学生未満は無料  
ところ 愛菜香(東城町)

次回は、岡村さんの紹介で、小林富子さんに教わる郷土料理教室「ひばりお富さんと郷土の味を楽しむ会」です。

庄原さとやま博体験メニュー、eco涼キャンペーンに関する問い合わせは、庄原市観光協会連合会  
☎0824-75-0173(まで)まで。  
ホームページアドレス  
<http://shobara-satoyama.jp/>





# 公文書の公開と個人情報の運用状況

平成22年度の市の公文書の公開および個人情報の運用状況をお知らせします。

総務課行政係 ☎0824-73-1123

市は市政に関する情報を公開し、開かれた市政を推進することに努めています。

その一方で個人情報の保護が重要であることを認識し、市が保有する個人情報について、個人情報保護条例を制定しています。

## ①公文書の開示請求などの状況

(H23.3.31 現在)

請求を受けた実施機関	請求件数	公開・非公開などの内訳		
		公開	部分公開	非公開
市長	26	8	14	4
教育委員会	6	5	1	0
選挙管理委員会	0	-	-	-
監査委員	0	-	-	-
公平委員会	0	-	-	-
農業委員会	0	-	-	-
水道事業管理者	0	-	-	-
病院管理者	0	-	-	-
議会	0	-	-	-
合計	32	13	15	4

※情報公開に関する相談や公文書の閲覧などに応じるため、市役所3階に閲覧室を設けています。閲覧を希望される方は総務課行政係までお問い合わせください。

## ②個人情報ファイルの届出件数および自己情報開示等請求件数

(H23.3.31 現在)

実施機関区分	ファイルの届出件数	開示請求件数	公開・非公開決定などの内訳	
			公開	非公開
市長	271	1	1	0
教育委員会	60	-	-	-
選挙管理委員会	2	-	-	-
監査委員	1	-	-	-
公平委員会	1	-	-	-
農業委員会	5	-	-	-
水道事業管理者	6	-	-	-
病院管理者	4	-	-	-
議会	2	-	-	-
合計	352	1	1	0

※個人情報ファイルの届出件数とは、各課で個人情報を扱っている文書の届出件数のことです。

# 平成23年度の新規助成対象研究課題が決定

## 庄原市県立広島大学研究開発助成事業

企画課政策推進係 ☎0824-73-1112

### 【地域活性化に向け新たに3件を採択】

市は平成17年度から、県立広島大学の研究者が所有する知的資源と地域資源を活用し、研究成果を商品化・事業化に結び付け、地域活性化を図る研究に対して助成する「県立広島大学研究開発助成事業」を実施しています。

本年度は、3件の新規助成対象研究課題を採択しました。

今後も研究者やしょうばら産学官連携推進機構と連携しながら、研究成果を地域活性化や新産業創出につなげていく取り組みを進めます。

### 【平成23年度助成対策研究課題】

研究課題の内容	研究者
<b>庄原市の未利用食資源の商品化</b> 有色米の糖化液(紫色)製造技術やジャンボタニシからの抗酸化物質(赤色素)抽出法を利用し、それらの資源を最大限に有効に活用する加工技術と新しい食品を開発し販売を行う。	生命環境学部 生命科学科 吉野 智之 准教授
<b>地域資源を活用した乳製品生産に向けた研究・開発</b> 乳製品生産、特にチーズや飲料の生産工程で鍵となる微生物(ラクトコッカス属)を備北地域から分離・保存し、昨年度の本事業で蓄積した「備北微生物バンク」の拡充とその特性解析を行う。併せて、新規チーズ(技術など)を開発するとともに解析中の微生物を使用した製品の実用化を図る。	生命環境学部 環境科学科 有馬 寿英 助教
<b>マツタケ山再生のためのマツタケ増栽の試み</b> 本事業を活用した研究により、マツタケ菌糸の土壌培養、ガラス瓶中でのシロ形成を確認しており、この技術を用いてさらに大きな規模でマツタケのシロを育成し、実際に増栽していくことで、マツタケ山の再生を図る。	生命環境学部 生命科学科 相沢 慎一 教授

# 不妊治療費補助金制度を開始しました

保健医療課健康推進係 ☎0824-73-1255

市は、医療保険対象外の特定不妊治療(体外受精または顕微授精)を行なっている方に補助金を交付する事業を開始しました。広島県の不妊治療支援事業による15万円の補助に加え、市が15万円を上限に助成します。

●補助金額など  
1回あたり15万円を上限  
通算10回、5年間を上限

●補助対象者  
次のすべてに当てはまる方

- ◇市内に住所がある方
- ◇法律上の婚姻をしている方
- ◇広島県不妊治療支援事業の助成を受けた方(平成23年4月以降の決定に限ります)

●申請に必要なもの

- ①補助金交付申請書
  - ②広島県の不妊治療支援事業承認決定通知書の写し
  - ③不妊治療費助成申請に係る証明書の写し
  - ④不妊治療の治療費の領収書の写し
  - ⑤印鑑
- ※保健医療課または各支所市民生活室に提出してください。(郵送も可)



# 「女性相談員」にご相談ください DVまたは女性の さまざまな生活の 悩みをお聴きします



市は、配偶者や恋人からの暴力(DV)または女性のさまざまな生活上の悩みを抱える方からの相談に応じる「庄原市女性相談員」を、7月1日から設置しています。

自分自身のことや家庭内のこと、恋人のこと、人間関係のことなどで「しんどい気持ち」を誰かに聴いてもらいたい、「この悩みをどこに相談したらいいだろう」と、ひとりで悩まないうで、ご相談ください。

専門の相談員がお話をじっくり伺い、相談者の気持ちに寄り添いながら、解決の方法を見つけるサポートをします。秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。

相談は面接もしくは電話でお受けします。本人以外のご家族や友人からの相談にも応じます。

相談員の勤務日  
毎週月・水・金(祝日を除く)  
9時～16時

相談員の勤務場所  
市役所本庁舎女性児童課内

※配偶者や恋人からの暴力(DV)は、男性からの相談もお受けします。

※面接相談をご希望の場合は、来庁前にご連絡ください。

※相談員が休みの日や不在のときは、市職員が代わってお受けします。

相談・問い合わせ  
女性児童課男女共同参画係  
☎0824-73-1243





保健医療課 保健師  
なかがわ あゆみ  
中河 鮎美

# 介護予防で 元気に過ごそう!



## ○介護予防事業は二つに分かれています。

### 一次予防事業

健康を維持・増進し、健やかに日々を過ごしていただくために、まだまだ元気!という方も含め、65歳以上の方すべてを対象としています。

●介護予防に関する基本的知識の普及啓発のための事業

●介護予防に関する学習・相談、介護予防講演会、転倒予防教室、介護予防講座 など

●男性料理教室 など

●介護予防に関するボランティア等の育成などのための事業

●介護予防ボランティア養成講座、健康づくり推進委員などの活動、認知症サポーター養成講座 など。

### 二次予防事業

要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の方を対象としています。

生活機能を調査し、介護予防事業の利用が望ましいと判定された方には、運動機能の向上、栄養改善、口腔機能の向上、閉じこもり・認知症うつ予防を目的とした事業を行っています。

「運動機能の向上」を目的とした介護予防教室では、一人一人に合った上下肢運動を行い、足腰や腕の力を付けて日常動作が少しでも楽になることを目指す。「積立預筋クラブ」などがあります。



二次予防事業のようす

庄原市における高齢化率は37.4% (概ね5人に2人)です。また、要介護認定を受けている方は24.4% (概ね4人に1人)となっています。(平成22年10月現在)

高齢者が要支援・要介護状態となることを防ぐことを目的とした介護予防が始まってから5年が経ちました。高齢化が進んでいる中、病気だけでなく「加齢による心身機能の低下」にも着目する必要があります。介護が必要な

状態になることを防ぐための予防が、健康を維持・増進することにもつながります。

■介護予防事業に参加を  
市は、できるだけ要介護認定を受けず、笑顔で元気に過ごせるよう、市内各地域の特性に合わせた介護予防事業を行っています。

笑顔で充実した日々を送るためには、「こころからだ」両方の元気を上げることは大切なことです。いつまでも

自分の事が自分ででき、伸び伸びとした生活を送るために、介護予防事業に参加してみませんか。

問い合わせ  
保健医療課健康推進係  
0824-73-1255  
高齢者福祉課高齢者福祉係  
0824-73-1165  
または各支所市民生活室(地域包括支援センター)まで。

# 地域の声を市政に

## 市政懇談会

情報政策課広報広聴係 ☎0824-73-11159

市は、市の政策や事業に対するご意見やご要望を市民の皆さんからお聴きし、幅広く市政に反映するため、市内各地域で「市政懇談会」を実施しています。

本年度は昨年度に引き続き、地域経営の主体である各自治振興区と、地域課題の解決や地域づくりについて考え、協働して取り組むために、その代表者と意見交換する形で市政懇談会を実施します。



### 開催会場

市内7会場(旧市町単位)

### 開催時期

8月～9月中旬を予定

### 出席者

自治振興区の役員(区長や事務局長など)

※開催案内は、各自治振興区に直接ご案内します。

このほかにも、市民の皆さんのご意見を市政に反映するために、次の事業を行っていますので、ぜひご利用ください。

### 【ふれあい市長室】

市長と直接対話できます。毎月1回、本庁または支所で開催しています。(開催日・会場などは広報紙のお知らせ欄、ホームページに掲載しています。申し込みは不要です。)

# 安心・安全な 毎日のために

## 救急車を

上手に使いましょう

### 救急車

必要なのは

どなたとき??



近年、救急車の出動件数搬送人員数は共に増えており、救急隊が現場へ到着する時間も遅くなっています。救急車で搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症という現状もあります。中には、症状に緊急性がなくても「交通手段がない」「どこかの病院に行けばよいかわからない」「便利だから」「困っているから」と救急車を呼ぶ人がいます。

受診の仕方も「平日休めない」「日中は用事がある」「明日は仕事」などの理由で、救急外来を夜間や休日を受診する人もいます。

平成23年度 全国統一防火標語  
「消したはず 決めつけないで  
もう一度」



### 9月9日は「救急の日」

9月9日は「救急の日」です。また、9月9日から15日までの1週間は「救急医療週間」と定められています。

消防署は、市民の皆さんに救急医療や救急業務の正しい理解と認識を深めていただくために、各種講習会やイベントなどを行います。

もしもの時にあわてずに適切な応急手当を行うために、職場や地域で救急救命講習やAEDを用いた救急教室を実施してみませんか?ご希望の方は、最寄りの消防署にお問い合わせください。



次のようなケースで救急車が呼ばれました。

- 蚊に刺されてかゆい
- 海水浴に行き、日焼けした足がヒリヒリする
- 紙で指先を切った。血は止まっているが...
- 病院でもらった薬がなくなった
- 今日入院予定日だから病院に行きたい
- ヘルパーを呼んだが来てくれなかったので、代わりに救急車を呼んだ
- 病院で長く待つのが面倒だから救急車を呼んだ

いざというとき、皆さん自身の安心のために、救急医療の受診について考えてみましょう。



# 楽しいこといっぱい！ 庄原夏まつりに出かけよう！

3,000発の花火が、庄原の夜空を華やかに彩ります。

□とき 8月28日(日)19時30分～  
※雨天の場合は29日(月)に順延

□ところ 上野公園

□駐車場 市役所広場駐車場、石塔市営駐車場、庄原駅横市営駐車場、庄原小臨時駐車場、田園文化センター駐車場、ザビッグ庄原店駐車場、上野

**庄原夏まつり  
花火大会**  
8/28

総合公園駐車場(駐車可能時間:18時～22時30分)

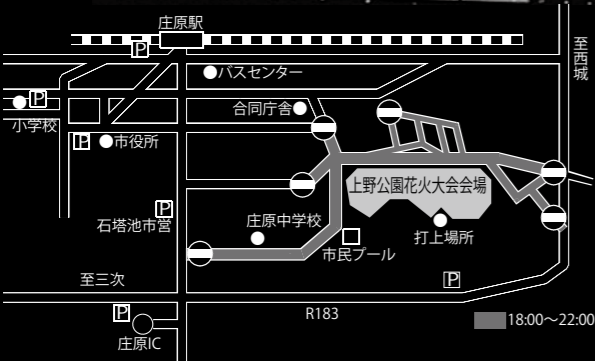
□交通規制 18時～22時(地図参照)

□その他 当日は、庄原市水泳プールは17時に閉場します。

上野公園内の駐車場は利用できません。身障者は上野公園駐車場をご利用になれます。許可証を発行しますので事前に事務局へご連絡ください。

交通規制時間以外の歩道への場所取りは歩行者の迷惑になるため、ブルーシートなどは撤去します。

□問い合わせ 庄原観光協会  
☎0824-733-0602



庄原の夏を締めくくる一大イベント。今年は、17年ぶりに「上野池ボートレース」が大復活！恒例のパレードや花火大会など、各種イベントが盛りだくさん。

□とき 8月27日(土)13時～  
28日(日)10時～

□主な内容と会場  
8月27日(土)  
13時～ うなぎのつかみどりなど各イベント・庄原小学校グラウンド

**庄原よいこ祭**  
8/27・28

17時～ よいこパレード…市役所前スタート

8月28日(日)  
10時～ わしらがこさえた船の競演 in 庄原

大復活！上野池ボートレース…上野池12時30分～ 書道パフォーマンス・大紙相撲・プラスチックバンドほか…市役所前広場

ミュージックエンタ(ふれあいセンター)、市民芸能祭(市民会館)

※日時場所内容はあくまでも予定です。変更などがある場合はご了承ください。

□問い合わせ  
庄原よいこ祭実行委員会  
☎・fax0824-72-7454

8/27・28の両日は、市街地を循環する「ひまわりバス」を終日無料運行します。駐車場と各イベント会場の移動にぜひご利用ください。  
※運行ダイヤは常どおりです。



**ヒバゴン郷  
どえりやあ祭**  
8/13

夏の夜空を彩る花火は迫力満点。どえりやあ囃子パレードや西城川太鼓、バイクトライアル、豪華景品のもらえる抽選会など、楽しい催しがいっぱいです。

□とき 8月13日(土)13時～22時

□ところ 西城町市街地 茶のみんさい通り夢公園(メイン会場)

◆主な内容  
13時～ 書道や盆栽などの展示会  
16時5分～ 子ども大抽選会(17時50分、20時50分もあり)  
16時25分～ 和太鼓ダンス  
17時～ 吹奏楽バイクトライアル  
18時40分～ どえりやあ囃子パレードスタート  
20時～ 打ち上げ花火  
21時10分～ エンディング、神楽餅まき

□問い合わせ  
ヒバゴン郷どえりやあ祭実行委員会  
☎0824-821-2904



**東城「遊夏祭」  
花火大会**  
8/14

○東城「遊夏祭」花火大会  
約1,300発の花火が、ふるさとの夜空を彩ります。

ステージショーやうちわ抽選会をはじめ、誰でも参加できる盆踊りなど、楽しい催しが盛りだくさん。今夏の一夜を東城で楽しみましょう。

□とき 8月14日(日)17時～

□ところ 東城小学校グラウンド

□内容 ステージショー・盆踊り・うちわ抽選会・打ち上げ花火

□問い合わせ  
東城「遊夏祭」実行委員会(東城町商工会内)  
☎08477-210525

**比和ふるさと  
盆踊り花火大会**  
8/15

比和の夏の夜空を打ち上げ花火が彩る「盆踊り花火大会」。ちびっこや仮装をして盆踊りに参加すると素敵なプレゼントがもらえます。

□とき 8月15日(月)20時～22時

□ところ 比和中学校グラウンド

□問い合わせ  
盆踊り花火大会実行委員会(備北商工会比和支所)  
☎0824-851-2330







文化スポーツ部門で全国大会などへ出場する選手の壮行式が7月15日、市役所で行われ、出場者をはじめ関係者や家族などが出席しました。式では、滝口季彦市長と竹内光義市議会議長があいさつし出場者を激励。辰川五朗教育長が祝金と花束を一人一人に手渡しました。

### 工課 商観 光

## マツダスタジアムで新たな出会い 男女の出会いイベント「カーブ応援ツアー」開催

庄原市男女の出会いサポート実行委員会が主催する出会いイベント「カーブ応援ツアー2011」が、6月26日に開催されました。このイベントは、市内在住の独身男女を主な対象とし、マツダスタジアムで一緒にカーブを応援しながら仲を深めようというものです。



マツダスタジアムのパーティーフロアでイベントを楽しむ参加者

試合もカーブが劇的な勝利を飾り、スタジアムも大盛り上がり。今後のカップル誕生に期待が膨らみます。庄原市男女の出会いサポート実行委員会では、今後もさまざまな出会いイベントや出会いサポート企画を行っていきます。すてきな出会いを見つけないか？

#### 出会いイベント男性参加者募集

●自然体験 シリーズ企画  
男女の出会いをサポートする3回連続企画。  
シリーズを通してみんなで石窯をつくり、最終回にはその窯でピザを焼きまします。山歩き、そば打ち、農作物の収穫体験など、回ごとにさまざまな自然体験も取り入れる予定です。  
男性向けには講習会など期間を通じたサポート企画を実施していきますので、奮って参加ください。  
とき 9月10日(土)・10月1日(土)・11月5日(土)

### 生涯学習

## 大舞台での活躍に期待 全国大会等出場者壮行式

出場者を代表して、全国中学生空手道選手権大会へ出場する早田萌々さんが決意を述べ、大会での活躍を誓いました。

#### 大会出場者(敬称略)

- 世界水泳選手権大会(競泳女子平泳ぎ) 金藤 理絵(丁A K E D・山内町)
- 全国高等学校総合文化祭(写真部) 山邊 久美(庄原実業高3年) 谷口 ちあき(庄原実業高3年) 山田 智世(庄原実業高3年) 松井 瑠美(庄原実業高2年) 清水 美咲(庄原実業高2年) 末藤 佑理(庄原格致高2年)
- 全国高等学校総合体育大会卓球競技大会(シングルス) 中田 一也(近大付属福山高2年・高町)
- 全国高等学校総合体育大会卓球競技大会(団体戦) 堀 美陽(近大付属福山高2年・小用町)

### 工課 商観 光

## 地元雇用の創出に期待 元サンエーマイクロセミコンダクタ 西城工場への企業進出が決定

今年3月末をもって閉鎖していた元サンエーマイクロセミコンダクタ西城工場へ、シンガポールを拠点とするダウイーインターナショナル社の日本現地法人フレックスデュー(株)の進出が6月17日に決定しました。今回の企業誘致にあたっては、日本貿易振興機構(JETRO)を通じて市から広島県へ情報提供を行い、最終決定に至ったもので、4月には滝口季彦市長が直接同社の関係者と面会し、進出を要請していました。

フレックスデュー(株)は、今後の世界的に需要が見込まれる「フィルム液晶※」の製造とその関連製品の開発を中心に事業展開する予定で、これに伴う地元雇用も予定されています。

社名 フレックスデュー株式会社  
資本金 4億8千万円  
事業内容 フィルム液晶製品の開発と製造

※フィルム液晶 プラスチックフィルムと液晶を合わせた画面(画像)表示用フィルムで、クレジットカード残高表示や大画面での動画表示(テレビ、大型スクリーンなど)、3Dメガネなどに用いられます。



### 健康 保医

## 一人でも多くの人の立ち直りを念じて 広島県断酒大会・庄原断酒会創立30周年記念大会

第41回広島県断酒大会・庄原断酒会創立30周年記念大会が6月12日、庄原市民会館で開催され、中四国から490人が参加しました。

この大会は、広島県断酒会連合会が毎年県内各地域の断酒会主管で行っているもので、断酒を実践している会員、家族の体験を聞いたり交流を深めたりする中から、アルコール依存症から立ち直った人の実態を知る催しです。式典後、会員による体験発表や、只

- 全国高等学校定時制通信制体育大会陸上競技の部(男子走り幅跳び) 石川 伸夫(三次高定時制3年・口和町)
- 全国中学生空手道選手権大会(女子団体形・女子団体組手) 早田 萌々(庄原中3年) 中村 桃花(庄原中1年) 伊折 ぼぼ(庄原中1年)



あいさつする庄原断酒会の長岡修会長



## はだしで走り回る園児が見たい！ 庄原幼稚園庭で芝生化の取り組み

REPORT 4

庄原幼稚園の園庭で6月25日、芝生の植え付け活動が行われました。

この取り組みは、転んでもけがの少ない芝生の上で、庄原の子どもたちにはだしで思い切り走り回ってほしいという思いから、社団法人庄原青年会議所が企画。



▲みんなで協力して植え付けました

当日は晴天の下、園児や保護者、庄原実業高校の生徒、青年会議所のメンバーなど総勢

約130人が参加し、500平方メートルの園庭に用意した芝生ポット2000株を一つ一つ丁寧に植え付けていきました。

作業を終えた後、庄原実業高校の生徒が制作した「芝生のことがよくわかる紙芝居」を鑑賞。芝生についてみんなで楽しく学びました。

現在は関係者が協力して、水やりや芝刈りなどの育成作業を行っており、芝生の上を園児が走り回る日を待ち望んでいます。

芝の様子やこれまでの育成過程は、ブログ「はだしで駆け回ろう！～芝生化計画in庄原～」(<http://kouheitan.seesaa.net/>)でご覧になれます。

## 国営備北丘陵公園と連携して花と緑のまちづくり しょうばら花会議月例ガーデニング実習・講習会

REPORT 5

身近な玄関先から花と緑のまちづくりを目指して活動している「しょうばら花会議」は、ガーデニング技術の向上と同じ趣味を持つ人との交流を目的に、毎月第3日曜日、国営備北丘陵公園で「月例ガーデニング実習・講習会」を開催しています。

しょうばら花会議のメンバーは、5月15日に夏花壇の植え込みと庭造り、6月19日には樹木の剪定と挿し木の仕方、苔玉づくりを学びました。

公園の植栽を担当し、講習会の講師を務める齋木義伸さんは「花好きな人が増えれば、市内に花と緑が増える。参加された方の自宅の玄関や庭先から、美しい景観

づくりへ発展すればうれしい」と期待していました。

興味のある方は、しょうばら花会議事務局(☎0824-73-1178)まで。



▲楽しく実習する参加者

## 次世代につなげたい看護の心とわざ ナイチンゲールフェスティバル

REPORT 6

庄原市の地域医療を考える会(構成団体 庄原市医師会・庄原赤十字病院・庄原市)による「ナイチンゲールフェスティバル」が7月10日、庄原市民会館で開催されました。

この催しは、看護師が日々感じている看護の素晴らしさをより多くの方々に伝え、看護師の人材育成や看護師確保につなげることを目的に行われたものです。

当日は、ナイチンゲールをテーマにした日本赤十字看護大学の川嶋みどりさんによる講演と映画「看護覚え書」が上映され、来場した約600人は、ナイチンゲールの「看護の心とわざ」に触れ感動している様子でした。

ロビーでは「命をつむぐ地域と医療のコラボレーショ

ン」と題した展示も行われ、地域と医療のつながりの大切さと看護師が真に伝えたい看護をパネルや手作りの展示物などで表現。庄原格致高校による写真展や庄原実業高校



▲ロビー展示の様子

による地産地消の野菜市なども行われました。

庄原赤十字病院看護師の楨原芙美子さんは「多くの学生の方にも来ていただいた。看護職に興味を持つきっかけづくりになればうれしい」と話していました。

## 大規模災害への備えを地域ぐるみで 西城街区総合防災訓練

REPORT 1

大規模災害を想定した西城街区総合防災訓練が6月12日、西城町市街地周辺で実施されました。

この訓練には、五町自治振興区を中心に消防団や地域住民など10団体286人が参加しました。

「地震発生により住宅や山林から火災が発生し多数の負傷者が出た」との想定のもと、山林火災への放水訓練、西城小学校への避難訓練、救護活動、バケツリレーや炊き出し訓練を行いました。

地域住民が参加して行われたバケツリレーでは、最初は呼吸が合わずバケツを渡す手が止まる場面もありましたが、次第に声を掛け合いながらうまくタイミングを合わ

せ、バケツをリレーしていました。

五町自治振興区の堂本時和会長は「訓練を通じて地域コミュニティの力を確認することができた。今後の課題は高齢者への対応や各常会の団結力を高めること。安心、安全な地域づくりを目指していきたい」と話していました。



▲バケツリレー ▲消防団員が誘導しての避難訓練

## 伝統の舞を堪能する一日 ひろしま夏の芸術祭「ミニ神楽公演」

REPORT 2

広島県が県内各地で実施する「ミニ神楽公演」が7月19日、庄原市民会館で開催されました。

この日出演したのは、北広島町の山王神楽団と田森保育所のちびっこ神楽団。

山王神楽団は、7匹の大蛇が舞う壮大な演目「八岐大蛇」で勇壮華麗な演舞を余すことなく披露。集まった約600人の来場者は終始魅了されていました。

また、田森保育所の3歳から6歳の園児たち11人が、国の無形民俗文化財「比婆荒神神楽」の伝統を引き継ぐ舞

を披露。かわいらしい姿で一生命に演じる子どもたちに客席から大きな歓声と拍手が上がっていました。



▲田森保育所の園児

## 子ども会活動の指導者育成に熱 第44回広島県子ども会健全育成大会

REPORT 3



▲レクリエーション指導の様子

この大会は、子ども会活動を指導する指導者の実践力を高めることを目的に、会場を県内の各市町に移しながら毎年開催されているもので、庄原市では6年ぶり東城町としては24年ぶりに開催されました。

当日は県内各地から参加した156人が、技術指導・レクリエーション指導・パネルディスカッション・ロケットクラ

フトの製作を行いました。

技術指導では、寺西玉実さんが「紙芝居の枠」を使って、台詞の間の取り方やおじいさん・おばあさん・乳児の声の演じ分けを指導。参加者は声を出して練習を行い、苦戦しながらも演じ分けに挑戦していました。

レクリエーション指導では、藤田伸史さんが体を使ったレクリエーションを参加者と行いました。藤田さんは「指導者は参加者が楽しめるように、自分の気持ちや周りを見る目をコントロールすることが大切」とアドバイスしていました。

庄原市子ども会連合会会長の迫田高則さんは「子どもは地域の宝であり、地域で子どもを育てるのが子ども会活動。この大会が、地域の子をわが子と同じように育てることを見直すよい機会になった」と話していました。



## 被災地にもとめる希望の光 大屋ほたる見会&ほたる見カフェ

REPORT 10

西城町の自治振興区大屋今櫛会が主催するほたる見会とほたる見カフェが7月2日、大屋多目的集会所周辺で開催されました。

20年来続くほたる見会は、集会所近くの川沿いをみんなで散歩し、蛍の乱舞を楽しむイベントとして親しまれているもので、一昨年から、この大屋の美しい自然の中に、地元の産物を使った料理でもてなす空間「ほたる見カフェ」をオープン。

今年は大屋地域の住民が実行員会を組織し、メニューづくりなどの準備を進めました。地元産のそば粉や野菜、西城産の夏いちごなど、旬の食材に工夫を凝らした品々は、地域内外から訪れた80人から大好評。お話会ダンボによる絵本の読み聞かせ、ヒバゴン紙芝居、地元の若者グループによるバンド演奏も会場を盛り上げまし

た。昨年の豪雨災害の影響によるで一時期開催が危ぶまれましたが、「蛍の姿を少しでも見ることができれば、みんなががんばっていく励みになる」との声が開催への後押しとなりました。

広島市内から参加した女性は「こんなに大きく力強く光る蛍を初めて見た。まるで大屋地域の人たちのよう」と感動していました。



▲バンド演奏で盛り上がる会場

## 音色が誘う無数の光 総領保育所で「ほたる見コンサート」

REPORT 11



▲クラフトかごづくり

総領自治振興区の協力のもと総領保育所と子育て支援センターが共同で6月17日、ほたる見コンサートを開催しました。

当日は、庄原格致高校吹奏楽部の5人が、フルート、クラリネット、アルトサクソ、ピアノによる演奏でディズニーメドレーなど4曲を披露。集まった園児や保護者、地域の方など約90人は、すてきな音色を楽しんでいました。

園庭にカンテラや田総川をイメージした光の川、室内

には光のカーテンなどを作成。クラフト籠作りにも挑戦し、大人も子どもも夢中になって作っていました。

夕刻、園内に飾った光のファンタジーを楽しんだ後、保育所前に流れる田総川周辺をホタル探索。園児たちは、ほのかな光を放つたくさんのホタルに出会うと「わ～きれい」「すごいね」とみんな大喜びでした。



▲庄原格致高校吹奏楽部による演奏

## グラウンドに気合と汗 庄原市消防団幹部訓練が実施

REPORT 12

庄原市消防団幹部訓練が7月10日、高野スポーツ広場で行われました。

当日は、上原清司消防団長をはじめとする市内の各方面隊幹部総勢163人が集結。真夏を思わせる炎天下の中、各個訓練や部隊訓練など大きな掛け声を会場に響かせながら約3時間にわたり、汗を流しました。

参加者は、昨年の庄原ゲリラ豪雨災害、東日本大震災などを教訓に、一つ一つの動作を真剣に取り組んでいます。

上原団長は「これから台風の接近による大雨も予想される。有事における団の統率、そのための訓練は極めて重要」と話していました。



▲左、左、左、右！連続歩調呼称

## 住宅デーに喜びの笑顔が広がる 広島県建設労働組合12地域連合庄原が奉仕活動

REPORT 7

全国統一「住宅デー」の6月25日を中心に、市内各地で建設労働組合による技術奉仕活動が展開されました。庄原・東城・西城地区では、保育所・子育て支援センターや小学校を修繕、高野・口和地域では、一人暮らしの高齢者宅の修繕などが行われました。

東城地域では、12人の組合員が八幡・田森保育所の二手に別れ、階段や屋根などを修繕。園児たちは「わあ！きれいになった！」「すごいね！」と歓声を上げていました。保護者からも「子どもた



▲テラス屋根を新設(三田市保育所)

ちの過ごす環境がよくなった」と喜びの声が上がっていました。

高野地域では12人の組合員が参加し、6戸を手分けして訪問。雨漏りの修繕や切れが悪くなった包丁や鎌などの刃物研ぎを行いました。

12地域連合庄原高野地区長の奥山福夫さんは「今後もこうした取り組みを継続し、地域の安心・安全に少しでも貢献したい」と話していました。



▲広島県建設労働組合12地域連合庄原高野地区の皆さん

## 地産で安心安全の給食を 学校給食へ地元新鮮野菜を提供

REPORT 8



▲楽しい給食時間

庄原市PTA連合会口和支部は6月20日、口和学校給食共同調理場へ地元産の野菜を届けました。

この活動は、子どもたちに安心安全な給食を食べてほしいと同支部独自の活動として毎年行っているもので、6月・9月・11月に旬の野菜を提供しています。

地元の新鮮食材でおいしく食べられることはもちろん、給食のメニュー全体の質の向上にも大きく貢献しています。

この日保護者の皆さんや地域の皆さんから持ち込まれた野菜は、たまねぎやキャベツなど17品目、約300kg。

口和学校給食共同調理場の栄養主任藤原美穂さんは「地元で採れたたくさんの野菜を子どもたちに食べさせることができ、とてもありがたい。保護者や地域の方の子どもたちを思う気持ちが伝わってくる」と喜んでいました。



▲野菜を持ち込むPTA役員

## 交通安全活動の功績を称えて 安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞

REPORT 9



中村 勳さん(東本町)が7月1日、総理大臣官邸で「安全功労者内閣総理大臣表彰」を受けました。

この表彰は、毎年7月1日の「国民安全の日」に合わせ、安全思想の普及徹底と安全水準の向上に顕著な功績のあった人に贈られるものです。

中村さんは、昭和52年から交通安全推進隊の一員として率先して通学路における街頭指導に取り組んでいるほか、児童を対象とした交通安全教室を定期的に行っている。また、昭和35年に免許を取得以来、無事故・無違反を継続するなど自ら安全運転の模範を示しています。

中村さんは「交通安全活動は、日々の地道な活動の積み重ねが重要。目に見えない活動を評価していただき大変ありがたく思う。今後も『人の命を大切に』をモットーに活動していく」と心新たに話していました。



生活相談

身体障害者補装具判定会

〔肢体〕 8月18日(木) 受付 13時～14時

広島県三次庁舎第3庁舎2階 三次市十日市東4-6-1 ※1週間前までに社会福祉課障害者福祉係へ予約を。 ☎0824-73-1210

人権相談(特設)

各地域で人権擁護委員が相談に応じます。

●庄原地域 とき 8月16日(火)～9月6日(火) 13時30分～16時30分

●西城地域 とき 9月8日(木) 13時30分～16時30分

●東城地域 とき 9月1日(木) 13時30分～15時30分

●高野地域 とき 8月17日(水) 13時～16時

●西城地域 とき 9月8日(木) 13時30分～16時30分

募集作品

未発表の自作絵手紙(ハガキ大)一人2点以内

対象 市内在住または通学、勤務の方

募集期間

8月10日(水)～9月24日(土)

応募要領 作品の裏に、住所氏名(ふりがな)・年齢(園児・児童・生徒は保育所・幼稚園・小学校名・学年)・電話番号を記入して応募してください。表彰 一般子ども部それぞれに、大賞・優秀賞・奨励賞を贈ります。

その他

入賞作品、応募作品は、10月8日(土)～10日(月)に、市民ギャラリー「アート多愛夢」で展示します。入賞作品の著作権は主催者に帰属し、作品は返却しません。

応募先・問い合わせ

庄原市文化協会 庄原市西本町二丁目17番15号 庄原市民会館内 ☎0824-72-5453 商工観光課商工振興係 庄原市中本町二丁目10番1号 ☎0824-73-1178

ところ 高野支所

●比和地域

とき 8月18日(木) 13時30分～15時30分

●総領地域

とき 9月10日(土) 9時～11時

総領町健康福祉センター

三次人権擁護委員協議会 ☎0824-62-2572

定期巡回児童相談

北部子ども家庭センターが子育てに関する相談に応じます。

●庄原地域

とき 8月18日(木) 10時～15時

庄原市ふれあいセンター

※1週間前までに女性児童課子育て支援係へ予約を。 ☎0824-73-0051

●東城地域

とき 8月26日(金) 10時～15時

東城支所

※1週間前までに東城支所市民生活室へ予約を。 ☎08477-2-5131

障害者相談員定期相談会

◆「庄原地域」

○知的 9月12日(月) 13時30分～16時30分

○身体・知的

9月16日(金)10時～12時

東城支所 ※事前予約もできます。

健康相談

広島県北部保健所(三次市十日市東)で実施する健康相談です。事前に電話でご予約ください。秘密は厳守します。

○エイズ検査相談

検査は無料・匿名で受けられます。結果はその日にお知らせできます。相談は随時受け付けています。

申し込み・問い合わせ

広島県北部保健所保健課 ☎0824-63-5181

無料法律相談

広島弁護士会三次地区会の弁護士が法律相談に応じます。

とき 8月20日(土) 13時～17時

ところ 東城支所

予約・問い合わせ

東城支所市民生活室 ☎08477-2-5121

消費生活センター相談

契約のトラブルや多重債務など消費生活に関する相談をお受けし、解決のためのお手伝いをしています。お気軽にご相談ください。

とき 毎週月～金曜日(祝日、年末年始除く) 9時～16時(12時～13時休み)

市役所1階市民生活課内 ☎0824-73-1228

募集

人権作品募集

生命の尊さや生きることのすばらしさ、平和の大切さを表現した作品を募集します。

県民の森イベント参加者募集

親子探検隊

夏休みだ!みんな集合! キャンプをしながら江の川源流川の生き物を観察しよう。

とき 8月20日(土)～21日(日) 参加費 親子1組(大人一人・子ども一人)1万円

追加一名ごと 3千500円

募集

対象 小・中学生とその保護者

申し込み・問い合わせ

ひろしま県民の森公園センター ☎0824-84-2011

クロカンパーク自然観察会

道後山高原クロカンパーク内に自生する中国山地特有の山野草などの植物を、現地ガイドのわかりやすい解説で案内します。

とき 9月4日(日)10時～

ところ

道後山高原クロカンパーク

参加費 大人500円

高校生以下 250円 (入園料含む)

問い合わせ

道後山高原クロカンパーク ☎0824-84-2727

西城温水プール水夢

水のリラククス効果を利用した赤ちゃんとのスキンシップ、肺を鍛えてかぜ予防、保護者の体力維持とダイエツトなど、効果抜群のベビースイミングを専門のインストラクターが楽しく指導します。

とき 9月1日(木)・10日(土)・22日(木)・30日(金)・10月6日(木)・15日(土)

※1回のみの参加も可。

10時15分～11時(受付10時)

ところ 西城温水プール水夢

対象 市内在住の子ども



「しょうばら花会議」は、鉢植えやプランター、庭の花壇や畑など日常生活でガーデニングに取り組んでいる人を応援し、その取り組みが広がることを目的に「第2回さつやまガーデニングコンテスト」を開催します。ぜひ、自慢の作品をご応募ください。

9月26日(月)～10月9日(日) ところ 市役所市民ひろば 内容 見学者による投票と審査により順位を競います。○コンテナガーデンの部(自由な入れ物に寄せ植え) 縦70センチ以内×横70センチ以内

※高さ制限なし ○ハンギングバスケットの部(壁掛けタイプの入れ物に寄せ植え) 縦70センチ以内×横70センチ以内×長さ100センチ以内

募集締め切り 9月16日(金)

※応募方法など詳しくは、しょうばら花会議事務局へお問い合わせください。

お問い合わせ

しょうばら花会議事務局(商工観光課商工振興係内) ☎0824-73-1178

応募資格は問いません。多くの皆さんのご応募をお待ちしています。

募集部門

●標語の部 ●作文の部 ●絵画・詩画・ポスター! 写真などの部

応募方法

作品は未発表のものに限り、一人1点とします。作品には、氏名(ふりがな)住所をご記入ください。(学校経由の場合は、氏名(ふりがな)・学校名・学年)

優秀作品の発表は、「広報しょうばら」で行い、人権講演会で表彰し、記念品を贈呈します。

作品を直接持参する場合は、生涯学習課または各支所教育室まで。

郵送の場合は、生涯学習課宛にお送りください。

募集締め切り 9月30日(金)必着

作品の郵送先・問い合わせ 〒727-8501

庄原市中本町二丁目10番1号 庄原市教育委員会生涯学習課 ☎0824-73-1188

Advertisement for a legal office. Text: 一人で悩まないで 必ず相談してください。業務のご案内: 不動産の名義変更, 相続登記・遺言, 借金の整理, 成年後見, 会社の登記, 簡易裁判所訴訟代理等. 司法書士 飯田 一生. 広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号) 〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 バルナシユB2階 TEL0824-72-2315



催し

第2回人権啓発セミナー

とき 9月7日(水) 18時30分
ところ 庄原市ふれあいセンター
内容 聴導犬「しろちゃん」の補助犬実演講座
講師 (福)日本聴導犬協会 有馬もとさん

外見からは分かりにくい、聴覚に障害のある人の生活を手助けする聴導犬はどのような仕事をするの？聴導犬になれる犬種は決まっているの？など、有馬もとさんのお話と聴導犬「しろちゃん」の実演を体験してください。

問い合わせ 総務課行政係
0824-73-1123



発達障害児支援シンポジウム

市は、発達障害が専門の文京学院大学教授・伊藤英夫さんをお招きし、パネルディスカッション形式のシンポジウムを開催します。
発達障害とは「自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳機能の障害」とされ、コミュニケーションが取れない、多動多弁、こだわりが強いなどの特徴がみられます。低年齢時からその症状が現れるとされており、早い段階での発見と支援が重要です。
この発達障害のある子どもの数が全国で右肩上がりに増えています。より多くの皆さんに広く理解を深めていただきたいと思います。ぜひご来場ください。

- とき 8月17日(水) 18時30分～20時30分
●ところ 庄原市ふれあいセンター
●テーマ 「保育所における発達障害児への支援」
●コーディネーター 文京学院大学教授 伊藤 英夫さん(庄原市障害者支援アドバイザー)
●パネリスト 兼森 博夫さん(市社会福祉課長) 古川 玲子さん(市立七塚保育所長) 輪手賀代子さん(市立庄原保育所保育士) 永奥 千草さん(市立数信みのり保育所保育士)
●問い合わせ 社会福祉課障害者福祉係 0824-73-1210

その他

災害時における要援護者の把握調査にご協力を

市は、民生委員の皆さんの協力を得て、災害時の避難に支援が必要な方をあらかじめ把握し、地域の助け合いで安全・確実・迅速に避難場所へ誘導する事業に取り組んでいます。
現在、民生委員を通して、災害時に避難が必要なきに家族の支援が得られない方や、家族の支援だけでは避難が困難な方(要援護者)の把握と支援協力者(近隣者など)の調査を行っています。
市民の皆さんのご理解ご協力をお願いします。

問い合わせ 社会福祉課障害者福祉係
0824-73-1210
または各支所市民生活室

8月は「道路ふれあい月間」です

「ふしぎだね この道歩く」とほつとする(平成23年度「道路ふれあい月間」推進標語最優秀作品)
私たちが日々何げなく使っている道路には、いろいろ

な機能があります。自動車や歩行者などが通行するための用途のほか、上下水道管などの公共的な施設を設置、またコミュニケーションの場や安らぎの場としても使われています。
このように、道路は私たちの生活に欠かすことのできない大切な施設です。しかし、身近な存在であるためか、その重要性が見過ごされがちです。

最近では、ごみの廃棄が目立ち、道路の景観が損なわれていることが見受けられます。
たとえば、イベントに参加したときには、プログラムなどの資料や持ち込んだペットボトルなどを各自で持ち帰るなど、道路を汚さないように心がけてください。

誰もが毎日使う道路です。8月の「道路ふれあい月間」を契機に、道路を見直してみませんか。
問い合わせ 建設課管理係
0824-73-1150

備北丘陵公園 だより

公園の夏。夏まつり開催中! 8月31日まで
問い合わせ 備北公園管理センター
0824-72-7000 (http://www.bihoku-park.go.jp/)

夏休みは自然に触れたり、珍しい体験をしたりして好奇心を刺激する絶好の機会です。公園では「こどもたちの好奇心」に込めるイベントを用意して皆さんのご来園をお待ちしています。

カブトムシハウス公開中
カブトムシに触って観察できる大好評のイベントです。カブトムシの力強さを感じてみませんか?
※カブトムシ発生期間のみの公開
午前 10時30分～12時

午後 13時30分～15時30分
ところ みのりの里カブトムシハウス

比和自然科学博物館共同プロジェクト
「世界のコガネムシ類コレクション展」
とき 8月31日(水)まで

カラフルな色、ダイナミックな形が魅力の外国産のコガネムシ、カブトムシの標本コレクションを展示します。
「ショウバウラクジラ展」
とき 8月31日(水)まで

市内で発見された「ショウバウラクジラ」を化石(レプリカ標本)や資料で紹介いたします。
ところ エントランスセンター国兼

昭和の涼を体験!
節電の夏にぴったり、なつかしい暮らしの知恵を体験

「里山屋敷で蚊帳体験」
今では珍しくなった蚊帳を畳の部屋につります。自然雄風が心地よく、昼寝もできます。夏野菜の丸かじり、竹の水鉄砲づくりも楽しいですよ(有料)。

夏のお菓子作り

自然な甘さが好評のお菓子作り。地元産の食材を使った素朴なおいしさが人気です。
ところ ひばの里

柏餅 8月13日(土)、14日(日) 参加費400円
梅寒天 8月20日(土)、21日(日) 参加費500円
※夏恒例「大流しうどん」8月13日(土)、14日(日) 参加費350円

1万本のひまわり畑
夏景色の主役「ひまわり」が登場します。
見ごろ 8月上旬～中旬

ところ ピクニック広場、スイセンガーデン下花畑
※天候により開花時期が変わります。

水遊びコーナーきりぎりまい
ミストシャワーの水遊びコーナーが登場します。直径24cmのシャワーの迷路でキリギリマイ!

とき 8月31日(水)まで
ところ 中の広場
※イベントの詳細は、電話もしくは公園ホームページにてお気軽にお問い合わせください。

あっぱれ庄原

全国レベルの大会出場者、全国・県レベルの大会、市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

全国大会

全日本高等学校女子サッカー選手権大会 (7月23日～29日・静岡県磐田市)
小林 美菜(広島文教女子大付属高2年・東城町)
渡邊安佑実(作陽高2年・東城町)

中国大会

中国五県剣道大会 (6月12日・岡山県総合グラウンド体育館)
男子の部 第二位
田淵 秀彦(西城町)

県大会

国民体育大会剣道大会県選考会 (4月3日・広島市南区スポーツセンター)
●大将の部 第一位
田淵 秀彦(西城町)
※該当する方の情報は情報政策課広報広聴係
0824-73-1159
までお寄せください。

Advertisement for SOLY (ソリー) legal services, including contact info and a list of services like estate planning and debt counseling.

Advertisement for E-Tax and Shizuhara Legal Association (庄原法人会), providing tax services and legal support.

Advertisement for home renovation services by Sokuji Real Estate (住友不動産), featuring a QR code and contact information.



## 人の動き

平成 23 年 6 月末日現在

### 【住民基本台帳登録人口】

人口 40,105人(前年比-752人)  
 男 19,086人(前年比-318人)  
 女 21,019人(前年比-434人)  
 世帯数 15,982世帯(前年比-91世帯)

### 【外国人登録人口】

○人口 312人(前年比-12人)

## ふれあい市長室の日程

☎ 情報政策課広報広聴係 ☎ 0824-73-1159

とき 9月10日(土)9時~12時

ところ 比和支所

※公務により実施できない場合もあります。

※道路の改良・維持・修繕などの要望、陳情は、事業担当課へお願いします。

## 献血のご案内

☎ 保健医療課医療予防係 ☎ 0824-73-1155

献血をつぎのとおりに実施します。皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
8月12日(金)	市役所	10時~11時30分 12時30分~15時
8月30日(火)	高野支所	11時30分~15時

## 市税・水道料金・下水道使用料納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。

※残高確認も忘れないでください。

● 税務課収納係 ☎ 0824-73-1145

● 下水道課管理係 ☎ 0824-73-1175

● 水道課庶務係 ☎ 0824-73-1197

### 広報日記

被爆から66年が経った今もなお、被爆者を苦しめる原爆。「本当は話しようない」と皆さんためらいつつも、記憶をたどりながら壮絶な被爆体験を語ってくださいました。特集の中でご紹介した「夾竹桃」は、その体験を如実に綴ったとても貴重なものです。小さいころから平和学習を受けてはきましたが、子どものころにはあまり感じていなかった平和のありがたさを、改めてこの本に教えてもらいました。「夾竹桃」の復刻を願うと同時に、私にできることがあれば協力していきたいと思っています。○

## 犬・猫の引き取り

☎ 環境政策課 ☎ 0824-72-1398

8月・9月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。なお、手続きには認印が必要ですので、持参してください。

	引き取り日	時間	場所
庄原地域	8月10日・24日	9:00~9:30	市役所車庫
東城地域	9月14日・28日	10:40~11:10	東城文化会館(8月) 東城支所(9月)

※東城地域の引き取りは、9月から東城支所正面駐車場でを行います。

※引き取り日時は、毎月第2・第4水曜日です。

※飼い犬・猫の引き取りは有料です。

## 男女共同参画コーナー

☎ 女性児童課 ☎ 0824-73-1243

### 人口減少の庄原市で労働力を確保するために

庄原市に住民として登録された20~59歳の人は、合併当時の平成17年3月末で18,432人でした。では、合併から6年たった平成23年3月末、この年代の人口は何%減ったのでしょうか。

- A 約6%(約1,100人減)
- B 約11%(約2,000人減)
- C 約16%(約3,000人減)



ヒント：この6年間に団塊の世代が60代を迎えています。(答えはこのページの右下)

この世代は、子育てや介護、地域活動を行いながら就労しており、家庭や地域の負担がかかる世代でもあります。働く世代の人口が減少する中で労働者を確保するためには保育・介護施策とともに、事業者による仕事と生活の両立支援がますます重要となってくると考えられます。

## 配偶者・パートナーからの暴力(DV)で悩んでいませんか

~あなたは“ひとり”じゃない~

■ 広島県西部こども家庭センター 女性相談課  
(配偶者暴力相談支援センター・婦人相談所)  
☎ 082-254-0391

■ 広島県北部こども家庭センター 相談援助課  
(配偶者暴力相談支援センター)  
☎ 0824-63-5181(内線 2313)

■ 庄原市役所 女性児童課 ☎ 0824-73-1243

答え◎

## 口和郷土資料館

☎ 0824-87-2230

開館日 月・木・土 9時~17時

### コンパクトカセット式テープレコーダー



大きさ：5.5cm(高さ)、13cm(幅)、24cm(奥行き)、1.75kg(重さ)



カセットテープ

これはソニー(株)で昭和41年に作られた「コンパクトカセット式テープレコーダー」です。

価格は24,800円と高価でしたが、トランジスターを使っているため、当時のオープンリール方式の小型機に比べ大きさと重さが半分以下になりました。小型の一体化されたカセット式テープを使って、モノラルの録音と再生が行えます。操作の簡単なピアノキー式で、小型スピーカを内蔵、テープのスタート・ストップ機能の付いたマイクが付いています。電灯線の100Vと電池の両用なので屋外でも使えるようになりました。

カセット式テープレコーダーは、オランダのフィリップス社で昭和35年に初めて開発されています。日本には昭和39年、東京オリンピックの年に「マガジン」という名前で登場しましたが、後にフランス語で「宝石」を意味する「カセット」に変わりました。カセット式は、手軽で便利な録音方式として家庭にも広く普及しました。テープは往復で、30、45、60、90、120分の録音時間があります。

その後、ステレオの録音・再生もできるようになり、ラジオ付き(ラジカセ)や音楽専用の高級型、そして手のひらサイズのウォークマンへと進化し、より小さいマイクロカセットや切手サイズのカセットも現れました。

現在は、デジタル録音方式に代わりつつありますが、手軽な記録・再生方式の一つとして今でも使われています。

## 休日診療のご案内

8月・9月の休日診療については、次のとおりです。

### ● 庄原地域

月 日	診療所名	電話番号
8月14日(日)	田淵医院	0824-72-3900
15日(月)	戸谷医院	0824-72-3131
21日(日)	藤野医院	0824-72-4646
28日(日)	児玉医院	0824-72-0147
9月4日(日)	庄原赤十字病院	0824-72-3111

### ● 東城地域

月 日	診療所名	電話番号
8月13日(土)	こぶしの里病院	08477-2-5255
14日(日)	東城病院	08477-2-2150
15日(月)	三上クリニック	08477-2-1151
21日(日)	こぶしの里病院	08477-2-5255
28日(日)	東城病院	08477-2-2150
9月4日(日)	瀬尾医院	08477-2-0023

## 市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX

### ★9月の展示案内★

#### 陶芸教室作品陶展「夏のなごり」

8日(木)~11日(日)10時~17時

☎ 庄原市文化協会事務局 ☎ 0824-72-5453

☎ 商工観光課商工振興係 ☎ 0824-73-1178

※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料はいりません。

### 食彩館しょうばら

ゆめさくら ☎ 0824-75-4411

### 【8月~9月のイベント情報】

#### ▼ ゆめさくら講座

##### ○ かずら教室

夏休み親子手作り教室

「竹馬と竹とんぼづくり」

とき 8月19日(金)9時30分~12時

参加費 1,800円 定員10人

##### ○ 草木染め教室

ゆめさくら講座作品展~秋~出展作品

「大判の布染め」※8月・9月の2回で仕上げます。

① 布のデザイン作成

とき 8月29日(月)朝の部9時~12時

昼の部13時30分~15時30分

② 染め

とき 9月12日(月)朝の部9時~12時

昼の部13時30分~15時30分

参加費 4,900円 定員各部10人

締め切り 8月14日(日)

#### ▼ 展示・その他

##### ○ 「庄原茶道連盟納涼茶会」

とき 8月21日(日)9時~16時

##### ○ 原 博己作品展

~土鈴を愛して30年・ふくろうと共に~

とき 9月1日(木)~11日(日)

## しょうばら九日市

### 毎月9日は、しょうばら九日市

出店者募集中!あなたのお店を開こう。

毎月20日が出店申込締め切りです。

申し込みは 交流サロンラッキー

☎ 0824-72-0075

9月 とき 9月9日(金)10時~14時

ところ 中本町商店街周辺  
(のぼりが目印)

詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.main.jp>





(平成23年7月21日撮影)

Vol.27

カンゾウ

# しょうばら 百景

SHOBARA  
HYAKKEI

私は、花と風景を撮るのが好きで、カメラを片手に市内を歩くことがよくあります。

写真は、隣家の畑に植えられていたカンゾウの花です。畑にはさまざまな種類の花が植えられています。ひとときわ鮮やかだったこの花をカメラに収めました。写真を撮ることがとても楽しく、いい写真が撮ればそれだけで自分も家族も癒やされています。これからも写真を撮り続けていきたいと思っています。

谷繁 幸雄(峰田町)

### 応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。また、この写真への思いや撮影エピソードなどを200字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。

応募先

〒727-8501  
庄原市中本町一丁目10番1号  
庄原市情報政策課広報広聴係  
☎0824-73-1159  
メール [koho@city.shobara.hiroshima.jp](mailto:koho@city.shobara.hiroshima.jp)

自然が生みだす  
**eco涼**  
を求めて 庄原へ

アウトドア初心者  
山ガール・山ボーイ集合!  
in ひろしま  
県民の森

山フェス  
しょうばら 2011

2011 8/28(土) 10:30~  
ところ/ひろしま県民の森  
庄原市西城町油木 156-14  
(小雨決行・荒天中止)

女性限定  
イベント  
in 吾妻山

山ヨガ体験

2011 9/10(土) 9:30~  
ところ/休暇村 吾妻山ロッジ  
庄原市北和町高松  
(小雨決行・荒天中止)

庄原さとやま博体験メニュー、eco涼キャンペーンに関する問い合わせは、庄原市観光協会連合会(☎0824-75-0173)まで。

庄原さとやま

検索